

動物の診察室から

○ 75 ○

1月に私の家に、新しくアイリッシュウルフハウンドが来ました。その子は昨年10月生まれの女の子で、名前は「未来ちゃん」。連れてきて驚いたことは、とてもとても臆病なシャイ犬だったことです。

未来は病院へ連れてきてケージに入れると、ケージの隅で向こう側を向いたまま固まってしまいました。手足はふん尿がしみ込んでおり、2日間

その後私の前で食事をすめるのに1カ月もかかりました。うんちのしつっこするのですが、なかなかうまくいきません。しかし、そんな未来も私と布団に寝るのは大好きなようで、和室に布団を敷き始めるとそわそわし、ふすまを開けると布団に飛び込んできます。



散歩もできるようになった未来ちゃん

来しつつけをすることができません。そこで、3カ月たったころ、家の中

た。あれだけ臆病だった未来の不安が少しずつ取り除かれてきたのです。どんな魔法を使ったのでしょうか。昨日で10日目です。先生は若くきれいなおねえさんです。おねえさんの前で、もうご飯も食べられるようになり、一緒に散歩もできるようになりました。

# 優しい声かけ不安除く

## 超シャイ犬からの脱出

かけてきれいにして私の部屋へ連れて行きました。しかし、今度は部屋の隅で固まったまま少しでも動かそうとすると、その場でうんちをたれてしまいます。

2日間は水も食事も口にせず、3日目の夜中にやっと食事をしました。

そして一緒に寝ながら私の指をそーとべろべろとするのです。でも、朝になって布団をあげると、また部屋の隅で固まってしまふのです。

私は朝から病院の仕事を始めると、昼に少しだけ未来の様子を見にいくのですが、ほとんど未

での一緒に生活をあきらめ、未来は外で飼うことになりました。しかし、居場所が変わった外のハウスの中で今度は固まってしましました。

ちょうどその頃、動物行動医療の先生と話す機会があり、未来のことを相談すると診てくれるこ

ていたようです。未来はおいしいものでも私以外の人の手からは食べることもできなかったのです。2日目には先生の手からおやつをもらえるようになりました。そして、なんと3日目に外を見ると、先生が未来にリードをつけて歩いていました。

聞こえます。

